

NSG

GROUP



NSG グループ
2015年3月期通期決算報告
(2014年4月1日～2015年3月31日)

日本板硝子株式会社
2015年5月14日

森 重樹

代表執行役社長兼CEO

クレメンス・ミラー

代表執行役副社長兼COO

マーク・ライオンズ

代表執行役副社長兼CFO

諸岡 賢一

執行役副社長

2015年3月期通期決算報告
(2014年4月1日～2015年3月31日)



アジェンダ

- 要点
- 決算概要
- 事業状況
- 2016年3月期通期業績見通し
- 中期経営計画の進捗
- まとめ

要点：2014年4月－2015年3月



- 無形資産償却と個別開示項目前営業利益は前年比**13%**改善し、当期利益が黒字化
- コスト削減による効果が反映し利益改善
- 市場状況は、改善している地域と低調な地域が混在

2015年3月期通期決算報告
(2014年4月1日～2015年3月31日)



アジェンダ

要点

決算概要

事業状況

2016年3月期通期業績見通し

中期経営計画の進捗

まとめ

連結損益計算書



(億円)	15年3月期 通期	14年3月期 通期	前年比
売上高	6,267	6,061	3%**
無形資産償却と個別開示項目前営業利益	252	224	13%
償却費*	(84)	(79)	
個別開示項目前営業利益	168	145	
個別開示項目	55	(138)	
営業利益	223	7	
金融費用(純額)	(179)	(168)	
持分法による投資利益	4	10	
税引前利益(損失)	48	(151)	
当期利益(損失)	29	(155)	
親会社の所有者に帰属する当期利益(損失)	17	(166)	
EBITDA	579	544	6%

*ピルキントン買収に伴って発生した無形資産の償却
**為替変動を除くと0%

コスト削減の効果と市場の状況を反映した利益状況

2015年5月14日 | 2015年3月期通期決算報告

7

売上高は6,267億円となり、前年比3%の増加となっています。
この増加は為替変動の影響によるものです。
為替変動の影響を除くと、売上高は前年と殆ど変わっていません。

市場状況が改善している地域と低調な地域が混在するなか、無形資産償却と個別開示項目前営業利益は前年比13%改善しています。

個別開示項目には、第2四半期に計上した、金額の大きい2つの利益と、リストラクチャリング施策の最終段階で発生した費用などが含まれています。ここでは、合計で55億円の利益を計上しています。

金融費用はわずかに増加しており、持分法による投資利益はロシアのジョイント・ベンチャーで計上した為替差損による影響を受けています。

当期利益は黒字となっています。

個別開示項目



(億円)

投資の分類変更による評価益
有形固定資産等の売却による利益
リストラクチャリング費用
関連会社に対する投資の評価損
その他

15年3月期 通期
133
51
(89)
(21)
(19)
55

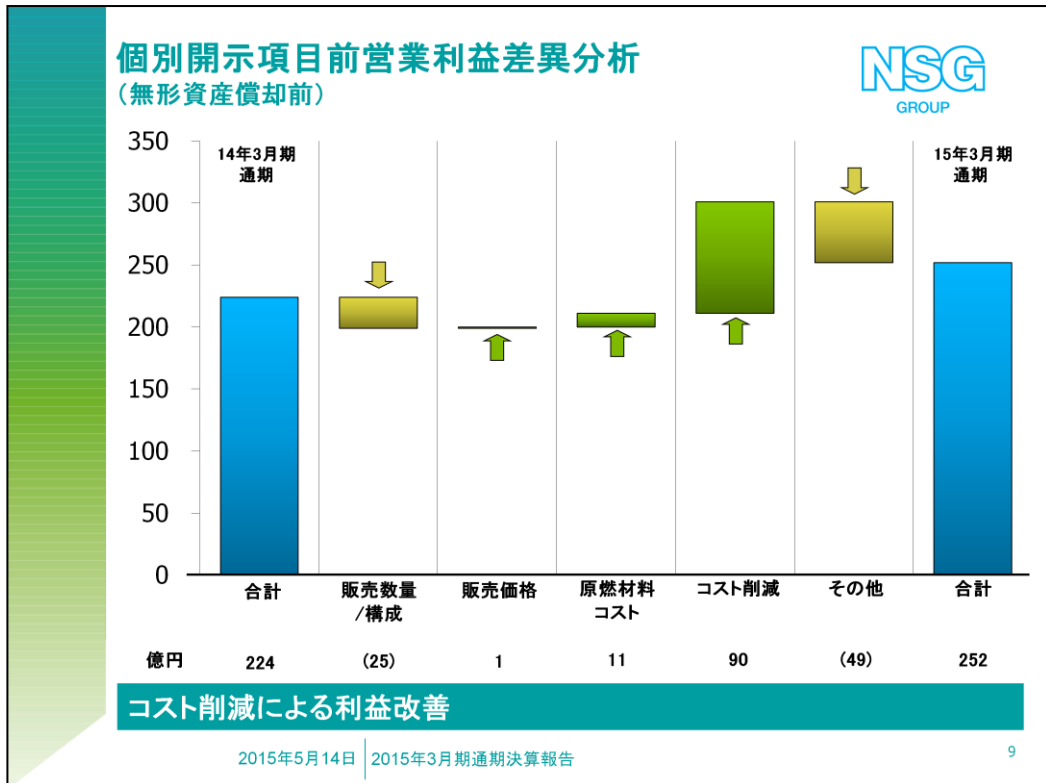
2015年5月14日 | 2015年3月期通期決算報告

8

個別開示項目には、金額の大きい2つの利益とリストラクチャリング施策の最終段階で発生した費用などが含まれています。

金額が大きい2つの利益については、第2四半期の決算の時に説明させていただいたとおりです。

下半期でも、当初の計画通り、リストラクチャリング施策によるコストが生じています。これらのコストは世界各地で発生しており、リストラクチャリング施策の最終段階で生じたものであります。



販売数量ですが、改善している地域と低調な地域が混在しています。北米では、建築用ガラス事業と自動車用ガラス事業の両方が、好調な市場状況の恩恵を受けました。東南アジアの建築用ガラス事業も、国内とソーラー用ガラスの需要増加の恩恵を受けています。

一方で、これらの改善は、南米や消費増税による影響を受けた日本の建築用ガラス事業などの低調によって相殺されました。

販売価格は、主要な地域で安定的に推移しました。

投入コストは、前年と同様の水準でした。

コスト削減による効果は、計画に沿ったかたちで発現しています。

「その他」はマイナスになっていますが、これは主に前年に認識した一過性の要因による収益に起因しています。

連結キャッシュ・フロー



(億円)	15年3月期	14年3月期	13年3月期
	通期	通期	通期
当期利益(損失)	29	(155)	(335)
減価償却費	417	404	366
運転資本の減少	139	152	217
法人所得税支払額	(42)	(37)	(60)
有形固定資産除売却損益	(52)	(6)	(9)
投資の分類変更による評価益	(133)	-	-
その他	(112)	(179)	(37)
営業活動によるキャッシュ・フロー	246	179	142
固定資産の取得	(326)	(257)	(256)
その他	94	86	186
投資活動によるキャッシュ・フロー	(232)	(171)	(70)
フリー・キャッシュ・フロー	14	8	72

負債削減のため、キャッシュの管理に注力

2015年5月14日 | 2015年3月期通期決算報告

10

過去3期間のキャッシュ・フローです。営業利益の改善とリストラチャリング施策によって生じるコストの減少によって、収益性が改善しています。

また、過去3期において多額のリストラチャリング費用が発生しましたが、運転資本の削減により、キャッシュ・フローはプラスで推移しています。

今年度も更なる収益性の改善と合わせて、キャッシュ・フローが改善することを見込んでおります。

主要財務指標 (KPI)



	<u>2015年3月末</u>	<u>2014年3月末</u>
ネット借入(億円)	3,741	3,791
ネット借入/EBITDA	6.5x	7.0x
ネット借入/純資産比率	2.0	2.0
	<u>2015年3月期</u> <u>通期</u>	<u>2014年3月期</u> <u>通期</u>
EBITDA/インタレスト・カバレッジ	3.7x	3.7x
営業利益率*	4.0%	3.7%

*無形資産償却と個別開示項目前営業利益

収益改善を反映したKPI

2015年5月14日 | 2015年3月期通期決算報告

11

ネット借入は主に為替変動の影響により、僅かに減少しました。

収益性の改善により、ネット借入/EBITDA比率と営業利益率が改善しています。

ネット借入/純資産比率は前年と同様の水準です。

EBITDA/インタレスト・カバレッジは、金融費用の増加が収益性改善の効果を打ち消したため、前年と同様の水準となりました。

2015年3月期通期決算報告
(2014年4月1日～2015年3月31日)



アジェンダ

要点

決算概要

事業状況

2016年3月期通期業績見通し

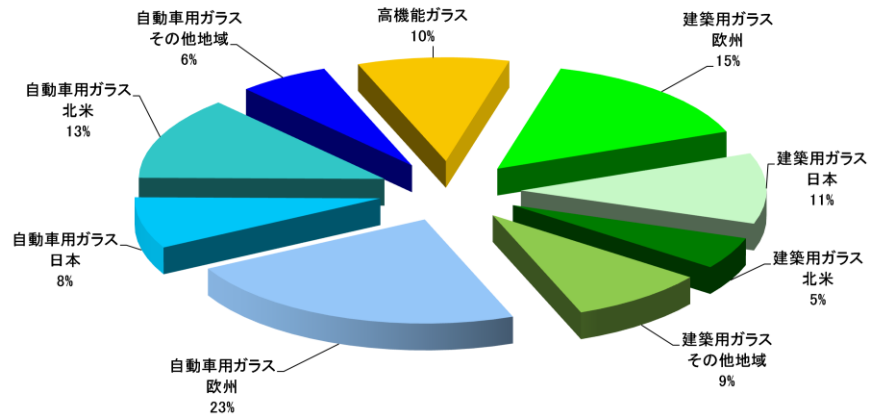
中期経営計画の進捗

まとめ

事業別売上高

NSG
GROUP

6,267億円



2015年3月期
(2014年4月 - 2015年3月)

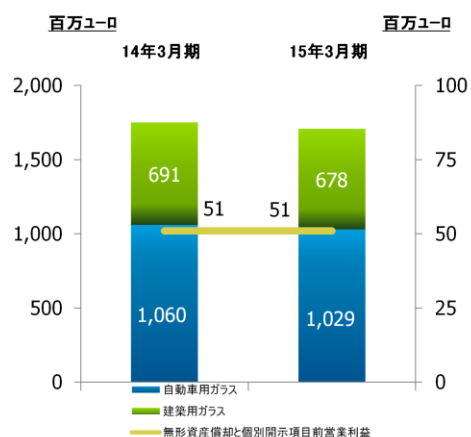
2015年5月14日 | 2015年3月期通期決算報告

13

このスライドは、当社グループの事業セグメント毎の売上高の構成比を示しています。

当社グループの売上高の構成比は、欧州が39%、日本で25%、北米で18%、その他の地域で18%、となっています。

欧州 2014年3月期通期との比較



建築用ガラス事業

- 市場状況は安定
- 販売数量は減少したが、前年度にて実施した生産能力の削減により稼働率が向上

自動車用ガラス事業

- 売上と利益は概ね前年度と同様の水準
- 第4四半期において、市場状況に改善の兆候

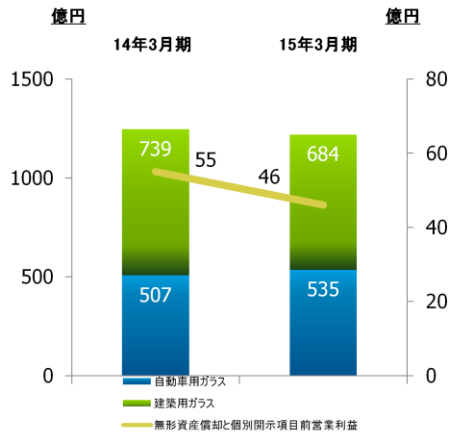
2015年5月14日 | 2015年3月期通期決算報告

14

欧州の建築用ガラス市場の需要は低いレベルではあるものの、安定的に推移しました。当社の販売数量は減少しましたが、前年度にて実施した生産能力の削減により稼働率が向上しました。

自動車用ガラス事業では、売上と利益は概ね前年と同様の水準でした。第4四半期では、新車販売台数が増加するなど、回復の兆しが見られました。

日本
2014年3月期通期との比較



建築用ガラス事業

- 消費増税による数量減の影響を受け減収

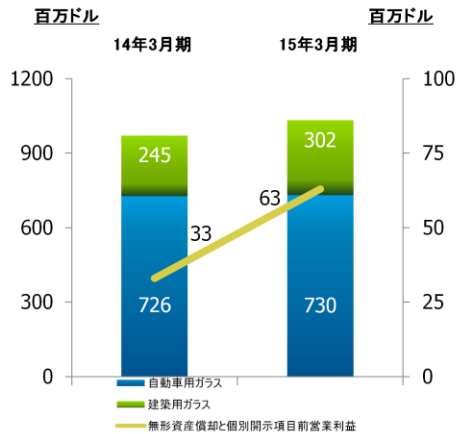
自動車用ガラス事業

- 新車(OE)用ガラスの市場は好調であったが、第4四半期では弱含みの兆候が見られた
- 投入コスト増加の影響は、コスト削減と設備稼働率の向上によって一部相殺

建築用ガラス事業では、消費増税による需要軟化の影響を受け、減収となりました。

自動車用ガラスの新車(OE)事業では、消費増税にも関わらず需要は堅調でしたが、第4四半期において弱含みの兆候が見られました。

北米 2014年3月期通期との比較



建築用ガラス事業

- 国内及びソーラー用ガラスの需要増加により、増収増益
- 価格水準は前年度を上回る

自動車用ガラス事業

- 新車(OE)用ガラスは、市場における数量増加により増収、各種改善が増益に寄与
- 補修(AGR)用ガラスは堅調な需要を享受

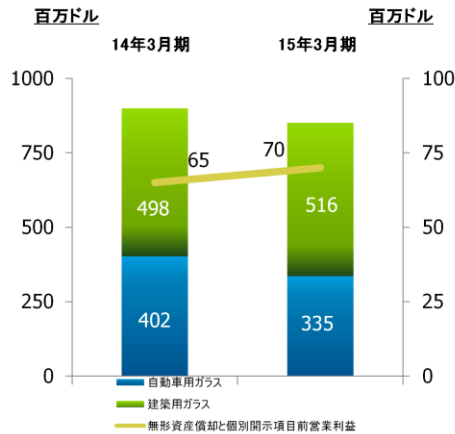
2015年5月14日 | 2015年3月期通期決算報告

16

建築用ガラス事業は、国内およびソーラー用ガラスの需要の増加により、増収増益となりました。価格水準も前年度を上回っています。

自動車用ガラスの新車(OE)事業の数量は、前年より増加しています。補修用(AGR)事業は堅調な需要を享受しています。

その他地域
2014年3月期通期との比較



建築用ガラス事業

- 東南アジアでは、国内需要が改善しソーラー用ガラスの出荷も増加
- 南米の売上(米ドルベース)は前年と同様の水準

自動車用ガラス事業

- 東南アジアにおける新車(OE)用ガラスの売上は前年並
- 南米は、厳しい経済状況の影響により、減収減益

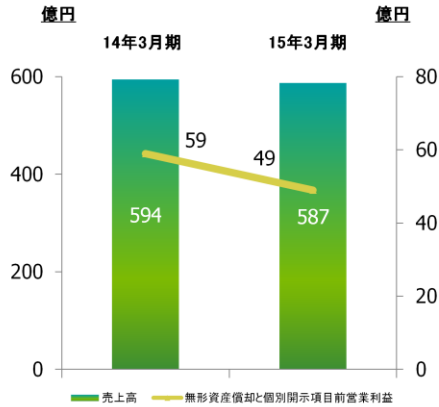
2015年5月14日 | 2015年3月期通期決算報告

17

建築用ガラス事業では、東南アジアにおける需要の改善と、ベトナムから出荷されるソーラー用ガラスの増加によって好調でした。南米のアメリカ・ドル換算の売上高も前年と同様の水準で推移しました。

南米の自動車用ガラス市場は、厳しい経済状況の影響を受け、低調に推移しています。

高機能ガラス事業 2014年3月期通期との比較



高機能ガラス事業

- ディスプレイ用薄板ガラスは価格競争の影響を受けている
- オフィス向けプリンター用レンズの需要が堅調
- グラスコードは前年並みの数量

2015年5月14日 | 2015年3月期通期決算報告

18

高機能ガラス事業の売上高は、前年と同様の水準でした。

ディスプレイ用薄板ガラスは価格競争の影響を受ける一方、
オフィス向けプリンター用レンズの需要は堅調でした。

グラスコードの数量は前年と同様の水準で推移しました。

持分法適用会社 2014年3月期通期との比較



億円	15年3月期 通期	14年3月期 通期
持分法による投資利益	4	10

- ロシアのジョイント・ベンチャーでは、低調な経済情勢とルーブル通貨の下落により、利益が減少
- 南米の利益は改善
- 中国の利益は前年を下回った

2015年5月14日 | 2015年3月期通期決算報告

19

持分法投資利益は、低調な経済情勢とルーブル通貨下落の影響を受けたロシアのジョイント・ベンチャーの損失により、前年を下回りました。

建築用ガラス事業のブラジルにおけるジョイント・ベンチャーのセブラセ社の業績は、前年と同様の水準でした。

コロンビアのジョイント・ベンチャーの業績は、前年において開業時のコストを計上していたため、前年に比べ改善しました。

2015年3月期通期決算報告
(2014年4月1日～2015年3月31日)



アジェンダ

要点

決算概要

事業状況

2016年3月期通期業績見通し

中期経営計画の進捗

まとめ

2016年3月期通期業績予想



欧州

- 建築用ガラス市場は概ね横ばいで推移
- 自動車用ガラス市場では、2015年3月期第4四半期に見られた回復傾向の継続を見込む

日本

- 建築用ガラス市場の緩やかな改善により、稼働率の改善を見込む
- 自動車用ガラス市場は横ばいを想定しているが、各種改善を見込む

2016年3月期通期業績予想について、欧州では、建築用ガラス市場は概ね横ばいで推移するものと見込んでいます。

自動車用ガラス市場は、2015年3月期の第4四半期に見られた回復傾向の継続を見込んでいます。

日本は、建築用ガラス市場の緩やかな改善により、稼働率の改善を見込んでおります。

自動車用ガラス市場は横ばいで推移すると想定しておりますが、各種改善も見込んでおります。

2016年3月期通期業績予想



北米

- 数量は堅調に推移
- 自動車用ガラス事業でさらに収益性改善

その他の地域

- 東南アジア市場の状況は更に改善
- 南米では、自動車用事業の稼働率改善のための施策を実行

高機能ガラス

- 事業の見通しは依然としてポジティブ

2015年5月14日 | 2015年3月期通期決算報告

22

北米では、数量は堅調に推移するものと想定しております。また、当社の自動車用ガラス事業において、収益性の改善を見込んでいます。

その他の地域では、東南アジア市場の状況が更に改善するものと見込んでいます。その一方、南米では自動車用ガラス事業の稼働率改善のための施策の実行を予定しております。

高機能ガラス事業の見通しは引き続きポジティブであると見込んでおります。

2016年3月期通期業績予想



(億円)	2016年3月期 見通し	2015年3月期 実績
売上高	6,550	6,267
無形資産償却前営業利益	320	252
償却費 *	(80)	(84)
営業利益	240	168
個別開示項目	-	55
金融費用(純額)	(180)	(179)
持分法による投資利益	20	4
税引前利益	80	48
当期利益	35	29
親会社の所有者に帰属する当期利益	20	17

* ビルキントン買収に伴って発生した無形資産の償却

市場状況の緩やかな改善を想定

2015年5月14日 | 2015年3月期通期決算報告

23

2016年3月期の通期業績予想です。

売上高は6,550億円と、前期から5%の増加となっておりますが、ここでは市場状況が緩やかに改善することを織り込んでいます。

営業利益は240億円です。前期からの改善は、市場状況の回復とあわせて、VA(高付加価値)製品比率を上げ、コスト削減を図ることによって、実現するものと見込んでおります。

金融費用は前期と同様の水準で推移するものと想定しています。

また、持分法による投資利益は、市場状況の回復の影響を享受するものと見込んでいます。

最終の当期利益は20億円と見込んでおります。

2015年3月期通期決算報告
(2014年4月1日～2015年3月31日)



アジェンダ

- 要点
- 決算概要
- 事業状況
- 2016年3月期通期業績見通し
- 中期経営計画の進捗
- まとめ

中期経営計画の進捗



- 好不調な地域が混在する中、低調な事業については改善策を実施、好調な事業については更に収益増強
- 稼働率改善は計画通り進捗
- 各事業においてVA商品の立ち上げは計画通り。重点戦略として、引き続き注力
- これまでのリストラ中心の守勢から、今後、増収増益の攻めに重点移行
- 基本戦略は、設備稼働率の極大化とVA比率の向上

2015年5月14日 | 2015年3月期通期決算報告

25

好調な地域と不調な地域が混在する中、低調な事業については改善策を実施します。また、好調な事業については更なる収益の増強に努めます。

稼働率改善は計画通り進捗しております。

各事業において、VA商品の立ち上げは計画通り進捗しています。これは重点戦略として、引き続き注力してまいります。

これまでのリストラ中心の守勢から、増収増益に向けての攻めに移行していきます。

「設備稼働率の極大化」と「VA比率の向上」の基本戦略は変更していません。

戦略ビジョン「VAガラスカンパニー」に向けたアクションの加速

- コスト競争力の向上
～製造効率(稼働率)向上とコスト削減に引き続き注力
- 建築用・自動車用ガラス事業
～高付加価値製品・サービスの提供
- 高機能ガラス事業
～新しい価値を持った製品・サービスの提供
～先進市場の開拓
- 各地域事業の戦略実行の加速
～経営資源の重点配分

戦略ビジョン「VAガラスカンパニー」に向けたアクションを更に加速させる上で、次の4点がポイントになります。

○コスト競争力の向上

製造効率(稼働率)の向上とコスト削減に引き続き注力していきます。

○建築用・自動車用ガラス事業

高付加価値な製品とサービスを提供していきます。

○高機能ガラス事業

新しい価値を持った製品やサービスを提供していきます。
また、先進市場の開拓を行ってまいります。

○各地域事業の戦略実行の加速

優先順位を決め、経営資源の重点配分を行います。

2015年3月期通期決算報告
(2014年4月1日～2015年3月31日)



アジェンダ

- 要点
- 決算概要
- 事業状況
- 2016年3月期通期業績見通し
- 中期経営計画の進捗
- まとめ

まとめ



- 無形資産償却と個別開示項目前営業利益は前年比**13%改善**し、当期利益が黒字化
- コスト削減による効果が反映し利益改善
- 市場状況は、改善している地域と低調な地域が混在
- **2016年3月期**において、市場状況の緩やかな改善を想定
- 基本戦略に変更なし

2015年5月14日 | 2015年3月期通期決算報告

28

業績は、無形資産償却と個別開示項目前営業利益は前年比13%の改善となりました。また、最終の当期利益も黒字化いたしました。

当社のコスト削減施策が、利益改善につながっています。

市場の状況は、改善している地域と低調な地域が混在しています。

2016年3月期では、市場の状況が緩やかに改善することを想定しています。

中期経営計画の基本戦略に変更はありません。

ご注意



当資料の業績見通しは、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、実際の業績は見通しと異なる可能性があります。その要因の主なものとしては、主要市場（欧州、日本、北米、アジア等）の経済環境及び製品需給の変動、為替相場の変動等があります。

日本板硝子株式会社

補足資料

事業部門別・地域別売上高 (2014年4月1日～2015年3月31日)



(億円)	欧州	日本	北米	その他地域	合計
建築用ガラス	945	684	332	568	2,529
自動車用ガラス	1,434	535	803	368	3,140
高機能ガラス	80	315	12	180	587
その他	1	10	0	0	11
合計	2,460	1,544	1,147	1,116	6,267

償却前営業利益*

(2014年4月1日～2015年3月31日)



(億円)	建築用ガラス	自動車用ガラス	高機能ガラス	その他	合計
営業利益*	170	94	49	(61)	252

(億円)	欧州	日本	北米	その他地域	合計
営業利益*	60	50	65	77	252

*: 無形資産償却と個別開示項目前営業利益

2015年5月14日 | 2015年3月期通期決算報告

32

為替レート



	2014年3月期 通期	2015年3月期 通期	2016年3月期 通期前提
期中平均為替レート:			
円/英ポンド	159	177	180
円/ユーロ	134	139	130
円/米ドル	100	110	110
期末為替レート:			
円/英ポンド	171	178	
円/ユーロ	141	130	
円/米ドル	103	120	

NSG

GROUP